伊東市議会9月定例会

決算大綱質疑要旨

伊東市議会

決算大綱質疑順序

- 1 正風改革クラブ 佐 山 正 君 山 口 嘉 昭 君 (8月26日(月)午前10時~午前11時30分)
- 2 自 民 · 絆 稲 葉 富士憲 君 (8月26日(月)午後1時~午後2時30分)
- 3 市民民主クラブ 四 宮 和 彦 君(8月26日(月)午後2時40分~午後3時40分)
- 4 日 本 共 産 党 重 岡 秀 子 君 (8月27日(火)午前10時~午前10時45分)
- 5 公 明 党 鳥 居 康 子 君 (8月27日(火)午前10時55分~午前11時40分)
- 大 飼 このり 君(8月27日(火)午後1時~午後1時25分)

正風改革クラブ佐 山 正山 口 嘉 昭

- 1 市長公約に掲げた3本の柱について、平成30年度にはどのように具体化し推進して きたか、その達成状況及び自己評価を伺う。
 - (1) みんながつくる伊東市
 - (2) みんなが楽しい伊東市
 - (3) みんなが暮らす伊東市
- 2 平成30年度各会計予算案公表資料における一般会計の主要事業のうち、以下の款別 の事業について、その進捗状況、成果及び見通しを伺う。
 - (1) 第2款総務費
 - ア 個人番号カード発行等事業及び住民票等コンビニ交付事業
 - イ 市民課窓口委託化仕様書作成事業
 - (2) 第3款民生費
 - ア 小規模保育事業所施設整備費補助事業
 - イ 地域子育て支援拠点整備事業
 - (3) 第4款衛生費
 - ア 子育てサロン委託事業
 - イ 対島地区ごみ収集委託事業
 - (4) 第5款労働費におけるシルバー交流サロン補助事業

- (5) 第6款農林水産業費における鳥獣駆除巡回事業
- (6) 第7款観光商工費
 - ア JR伊東駅前観光トイレ設計業務委託事業
 - イ 観光トイレユニバーサルデザイン整備事業
 - ウ 伊東ゴルフメッカ推進事業
 - エ 静岡デスティネーションキャンペーン実施事業
 - オ スポーツ誘客推進事業
- (7) 第8款土木費における地域公共交通活性化事業
- (8) 第10款教育費
 - ア 特別支援教育アドバイザー配置事業
 - イ 中学校部活動補助事業
 - ウ 小中学校校務支援システム導入事業
 - エ 私立幼稚園施設型給付及び一時預かり委託事業
 - 才 青少年育成戦略応援補助事業
- 3 競輪事業特別会計について、平成30年度は、特別競輪が開催されないことから当初 より減収の見込みであったが、収支においては黒字を確保している。この要因をどのよ うに分析しているか伺う。

自民・絆 稲 葉 富士憲

- 1 一般会計歳入決算額は、272億2,518万1,000円で前年度決算額を1%上回るとともに、自主財源比率が2.1ポイント向上して54.8%となったが、この要因をどのように分析しているか伺う。
- 2 平成30年度財政調整基金残高は、市政報告書によれば、平成29年度末残高に1億96万3,000円を積み増し、35億8,981万7,000円となっているが、基金の適正規模に関する見解を伺う。
- 3 平成30年度各会計予算案公表資料において、主要事業とされた次の21事業に関し、 これらを実施したことによる効果、課題及び今後の展望を伺う。
 - (1) 移住定住促進事業
 - (2) 魅力あるまちづくり事業
 - (3) ふるさと伊東応援寄附金返礼事業
 - (4) 滞在型リフレッシュリゾート地推進事業
 - (5) 在宅高齢者緊急入所等措置事業
 - (6) 子どもの居場所づくり事業
 - (7) 母子・父子自立支援事業
 - (8) 待機児童削減サポート補助事業

(9) 健康マイレージ事業

(10) 助産師等訪問委託事業

- (11) 親性準備教育事業
- (12) 森林パトロール事業
- (13) 花咲く伊東整備事業
- (4) HIKARI to YUKATAにぎわい演出事業
- (15) 外国人観光客誘致活動推進事業
- (16) シティプロモーション推進事業
- (17) 起業支援及び空き店舗対策補助事業
- (18) 空家等対策推進事業
- (19) 伊東駅周辺地区まちづくり検討調査事業
- 20) 育英奨学金事業
- (21) いじめ・不登校対策事業

市民民主クラブ 四宮和彦

平成30年度決算に関し、以下2点伺う。

- 1 市長が、行政経営方針である「未来を拓く取組」として掲げた主要施策に関し、その 実績及び評価について、以下2点伺う。
 - (1) 未来ビジョン会議、地域タウンミーティング、市長への手紙など、市民との対話を 重視するボトムアップ方式の市政運営に継続的に取り組んで来ていると思われるが、 その成果は決算にどのように反映されているか伺う。
 - (2) メディアを活用した観光戦略として、プロモーションビデオ (PV) を制作し、本 市の豊富な地域資源を広く国内外にPRするとしていたが、どのようなPVが制作さ れたか、また、PRについてどのような成果があったか伺う。
- 2 一般会計に関し、以下6点伺う。
 - (1) 第2款総務費に関し、事業成果及び評価について、以下2点伺う。 ア 滞在型リフレッシュリゾート地推進事業について

イ セラピー・スポット開発事業について

- (2) 第3款民生費に関し、事業成果及び評価について、以下2点伺う。 ア 子育て支援アプリ活用事業について
 - イ 子どもの居場所づくり事業について

(3)	第6款農林水産業費に関し、	国が進める農地中間管理事業に関する地域農業者等へ
0	の周知の成果について伺う。	

- (4) 第7款観光商工費に関し、HIKARI to YUKATAにぎわい演出事業の成果を伺うとともに、同事業の将来性をどのように評価しているか伺う。
- (5) 第8款土木費に関し、市営住宅既存施設改修解体事業における市営住宅リフレッシュ工事の進捗状況及び入居待機者解消へ向けた取り組みの成果について伺う。
- (6) 第10款教育費に関し、以下3点伺う。 ア 青少年育成戦略応援補助事業における補助実績について伺う。
 - イ 小中学校校務支援システム導入による教職員の職務負担軽減の効果について伺う。
 - ウ 中学校部活動補助金の交付実績について伺う。

日本共産党 重 岡 秀 子

1	病院事業会計におけ	る医療従事者就業支	援事業について、	以ト3点伺う。

- (1) 事業内容及び実績について
- (2) 経費及び財源について
- (3) 今後の計画について
- 2 平成28年4月に常備消防が広域化され3年が経過し、その中で駿東伊豆消防組合負担金は増加傾向にあるが、その主な要因及び今後の負担金の見込みについて伺う。
- 3 第3次伊東市観光基本計画の策定について、以下3点伺う。
 - (1) どのように観光情勢を検証し、また、市民の意見を反映させたのか伺う。
 - (2) 何を重点として同計画を策定したのか伺う。
 - (3) 今後、計画の推進や検証はどのように行っていくのか伺う。
- 4 伊東駅周辺地区整備事業における伊東駅周辺地区まちづくり検討調査について、以下 2点伺う。
 - (1) 調査目的及び内容について
 - (2) 調査結果を踏まえた今後の取り組みについて

公明党 鳥居康子

1 平成30年度一般会計当初予算では、歳入において、個人市民税や入湯税の増収を見込み、景気回復の兆しが見え始めたとしているが、決算状況をどのように判断されているか何う。

また、歳出決算款別性質別内訳表における積立金については、構成比4.7%、12 億3,540万1,000円と、前年度と比較して増加しているが、その要因を伺う。

- 2 移住定住促進事業について、県が実施する移住相談会での移住希望者からの相談の受け付け、地域おこし協力隊 2 人への委嘱、サテライトオフィス等を設置する事業者への補助により、移住定住の促進を図ったとしているが、それぞれの実績及び評価を伺うとともに、今後どのように取り組んでいくのか、考えを伺う。
- 3 男女共同参画事業「あすを奏でるハーモニープラン」を推進するため、市民代表による懇話会や講演会を開催したとあるが、策定から8年を経過している本プランの進捗状況について伺う。
- 4 空き家対策については、市内に点在する空き家等の実態調査を実施したとしているが、 その結果について伺うとともに、調査結果を踏まえ、今後どのような対策を講じていく のか、考えを伺う。
- 5 交通対策事業について、公共交通の維持を図るため、デマンド型乗合タクシー運行業 務委託を実施しているが、その利用状況を伺う。

また、伊東市地域公共交通網形成計画に基づき、今後のデマンド交通の活用など、市としてどのような取り組みを考えているか伺う。

犬 飼 このり

平成30年度伊東市一般会計決算を踏まえ、以下3点伺う。

1 第2款総務費に関し、車両管理費における修繕料について、公用車の事故等による修 繕料が発生している場合、その件数及び原因と今後の対策を伺う。

2 第3款民生費に関し、生活保護総務費におけるホームレス実態調査について、昨今では道の駅等での車中泊や24時間営業店舗での滞在、知人宅への居候等により、その実態を把握しづらい状況があると考えるが、調査方法及び結果を伺うとともに、今後どのように調査を行うのか、考え方を伺う。

3 第8款土木費に関し、都市計画費における伊東駅周辺地区まちづくり検討調査業務委 託料について、当初予算1,500万円を大幅に下回る847万8,000円の決算額 となっていることから、その理由を伺うとともに、調査内容及び今後の展望を伺う。